

令和4年度

社会福祉法人天童市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人天童市社会福祉協議会

～ 共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち天童 ～

<http://www.tendo-shakyo.or.jp>

目 次

1	総括	1
2	重点項目	2
3	事業概要	
(1)	地域福祉事業・ボランティア活動の推進	3
(2)	生活困窮者自立相談支援事業・各種相談援助事業の実施	15
(3)	共同募金活動	21
(4)	天童市地域包括支援センター中央の運営	23
(5)	介護サービス事業所の運営	30
(6)	天童市総合福祉センターの管理・経営	32
(7)	法人組織の管理・運営等	35
4	別表1	
	令和4年度天童市総合福祉センター利用状況	40

総 括

新型コロナ禍3年目となった令和4年度は、活動会場の人数や飲食等の制限が段階的に緩和される中で、本協議会としても適宜・適切に状況判断を行いながら、マスクの着用などの感染予防対策を継続した上で、積極的に活動を展開しました。

【第二次天童市地域福祉活動計画の実践】

この3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で、いきいきサロンや地域カフェ推進事業などは、規模縮小や一時休止を余儀なくされてきました。このことは、高齢者の社会参加や生きがいづくり、心身の健康維持に大きな影響があったものと考えられます。ようやく制限が緩和されてきましたが、感染への懸念の感じ方は人それぞれであることから、活動等の再開に向けては、随時、対応方針を通知するなど、丁寧な対応を行いました。

また、「住民助け合い活動養成講座」の受講生が自主的に組織を立ち上げて、地域福祉の学習活動を開始したことは、大きな成果でありました。さらに、「子ども食堂」の新規立ち上げ研修会の開催や運営主体への支援などを行った結果、「子ども食堂」が市内3ヶ所に増加しました。

【生活自立支援センター等の運営】

新型コロナウイルス感染に伴う相談件数や貸付需要が落ち着き、生活福祉資金特例貸付や生活困窮者自立支援金の申請などが終了しました。令和5年1月から貸付金の償還が開始されたことから、償還に向けた支援や生活困窮から抜け出せない方に対する生活相談にも丁寧に応じ、償還が困難な一部の債務者については免除や猶予の申請を支援しました。

ニーズが増加している「成年後見」については、法人後見人としての受任件数を拡大して対応しました。

【介護保険事業】

「地域包括支援センター中央」と「居宅介護支援事業所」、「訪問介護サービス事業所」を運営し、高齢者と障がい者の立場に立った、質の高いサービスの提供に努めるとともに、収益の確保を図り、健全経営に努めました。特に、コロナ感染対策等を徹底しながらサービスの継続に努めた結果、利用者の感染拡大や集団発生を抑えることができました。

【ボランティア活動】

ごみ拾いや除雪のボランティアを募り、ボランティア活動への参加機会を提供した結果、若者をはじめ多くの参加者があり、ボランティア活動の普及啓発に成果がありました。

また、「災害ボランティアセンター」に関して、被災地に職員を派遣してセンター運営のノウハウの蓄積に努めるとともに、天童市総合防災訓練において、センター設置運営訓練を3年ぶりに実施するなど、頻発する自然災害への備えを強化することができました。

【法人組織の管理・運営】

関係法令と定款等を遵守するとともに、評議員会と理事会を開催して、適正性と透明性の確保を図りました。また、市総合福祉センターの管理・運営についても、指定管理に関する包括協定に従って適正な管理と市民が利用しやすい環境づくりに努めました。さらに、ソーシャルネットワークサービス（SNS）など、新しいツールを活用した広報活動を展開し、若い市民層への理解も拡大したものと考えています。

以上、地域福祉を推進する中核組織との自覚のもと、地域住民や行政、福祉事業者のみなさんなどと連携しながら、事業の積極的な展開と効率的な運営を行いました。

重点項目

1 「第二次天童市地域福祉活動計画」の実践と各種相談支援事業・福祉のまちづくりの推進

自助、互助、共助及び公助の取り組みによる地域生活課題の把握や地域共生社会の実現を理念に掲げ策定した「第二次天童市地域福祉活動計画」の実践活動に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方への生活資金の貸付けや相談対応を行いながら生活維持の支援に努めました。

なお、生活支援コーディネーター事業では、生活支援・介護予防体制整備推進協議体と連携を図り、住民ニーズと提供主体のコーディネーター業務等を実施しました。

2 地域包括ケアに係る地域づくりの推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、相談対応やモニタリング、担当者会議開催時は、感染予防のために短時間での意志疎通、状態把握に努め、安否確認と廃用症候群予防を兼ねて、一人暮らし高齢者訪問事業を実施しました。

介護支援専門員等の研修においては、状況に応じて、集合型と ZOOM ミーティングによるオンラインでの研修開催を行い、さらに認知症の方にやさしい地域づくりに寄与するため、学生や団体向けの認知症サポーター養成講座開催に努めました。

3 介護保険事業所の適正運営と持続可能な経営の取り組み

居宅介護支援事業所及び訪問介護サービス事業所は、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、介護保険や障がい者支援等の各制度に基づき、利用者が望む生活、自立した生活を支援するため、法令遵守及び公正公平な対応に配慮して適正運営に努めました。

また、運営会議を開催し、持続可能な経営ができるよう介護保険事業所の収益性の改善に向けた検討を行いました。

4 天童市総合福祉センターの管理・経営

給水ポンプや誘導灯、照明器具等を修繕するなど、良好な設備環境による適切な管理・経営に努めながら、利用者の要望に沿うとともに、経費節減に基づく効率的な運営を旨として、市総合福祉センターの管理運営を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者にも適宜注意喚起を図り、環境衛生の整備に努めました。

5 法人組織の適正な管理と経営改善に向けた取り組み

経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上のため、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営を行いました。また、経費の節減等を行いながら、経営改善に努めました。

さらに、新たにツイッターのアカウントを開設し、法人事業の広報に取り組みました。

事業概要

1 地域福祉事業・ボランティア活動の推進

(1) 地域福祉ネットワーク活動

ア 地域社会福祉協議会の支援・充実

地域福祉活動の効率的、組織的な運営を通し、住民自身がたすけあい、ささえあいう「福祉コミュニティ」を実現することを目的とした地域社会福祉協議会の運営支援に努めました。

地域社会福祉協議会会議を2回開催し、情報交換や協議を行いながら、地域社会福祉協議会の行事等への参加、社会福祉協議会費や共同募金集金の協力、歳末たすけあい配分委員会への協力等、活動全般に協力しました。

- 1 地域社会福祉協議会会議期日等
 - (1) 8月8日 25名参加
 - (2) 1月30日 24名参加
- 2 地域社会福祉協議会の共通活動
 - (1) 市福祉推進員活動の支援
 - (2) いきいきサロン活動・地域カフェ推進事業・子育てサロン
 - (3) 共同募金・歳末たすけあい運動の協力
 - (4) 社会福祉協議会費・日本赤十字社会費集金協力
 - (5) 福祉活動の啓発・情報提供
 - (6) 福祉関係機関との連絡・調整

イ 天童市福祉推進員活動の充実

地域住民の立場から、自治会長や市民生委員・児童委員と連携して高齢者や障がい者等の見守り、声かけ、住民の地域福祉ネットワークづくりを行う市福祉推進員の活動を支援しました。

- 1 市福祉推進員委嘱状況 333名（昨年度331名）

天童南部49名、天童中部76名、天童北部38名、成生22名、蔵増18名、寺津14名、津山24名、田麦野3名、山口18名、高嶺22名、長岡29名、干布15名、荒谷5名
- 2 任期 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで
- 3 新任者研修会 5月31日
 - (1) 1回目 午後1時30分～ 64名参加
 - (2) 2回目 午後7時～ 52名参加
- 4 市福祉推進員の共通活動
 - (1) 見守り、声かけ、話し相手に関する事
 - (2) 安否の確認、緊急時の連絡等に関する事
 - (3) たすけあい、ささえあいの機運づくり等に関する事
 - (4) 地域福祉事業等への参加・協力に関する事

(5) その他地域福祉の推進に関すること

ウ いきいきサロン事業の充実・普及

高齢者や障がい者等、自宅で閉じこもりがちな方々の社会参加、健康増進の場であるいきいきサロンの啓発を図り、自治会や市民生委員・児童委員、市福祉推進員等の支援を得て、62ヶ所の運営支援を行いました。さらに、一人暮らし高齢者の孤立・閉じこもり防止のための「一人暮らし高齢者激励会事業」への取組みを進めました。

市社会福祉協議会事務局では、各種講師の紹介や保険加入等の事務的支援、連絡会議と研修会開催等各サロンの運営支援に努め、市全域での実施を目標として未開設地域への啓発、情報提供等の支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染対策についての研修会や広報誌を発行し情報提供に努めながら、3月13日以降もマスク着用等の検討依頼を行いました。

1. いきいきサロン開設数 62ヶ所（昨年度62ヶ所）
 - (1) 町内会単位 57ヶ所（昨年度57ヶ所）※休止9ヶ所（昨年度9ヶ所）
三日町、南小畑、南町、上北目、田鶴町、五日町、久野本東2区（休止）、久野本東3.4区、久野本東7区（休止）、久野本東9区、久野本東10区、久野本東12.13区（休止）、久野本東16区、久野本会、糠塚、柏木、泉町、東本町（休止）、老野森、綿掛、小路、東交り江、本町（休止）、乱川、北久野本1丁目、北久野本2丁目、北久野本3丁目、北久野本4丁目、北久野本5丁目、天童原、大清水、大町、西交り江、今町（休止）、向原、成生、小関、高木、蔵増北部、矢野目、蔵増南、温泉、寄的、若松、下貫津（新）、道満（休止）、原崎、芳賀（休止）、高揃北（休止）、清池、楯之内、にれの木団地、高揃1.2、石倉、上荻野戸、原町、八千代台
 - (2) 市立公民館単位 5ヶ所（昨年度5ヶ所）
寺津、田麦野、長岡（2ヶ所）、荒谷
2. 一人暮らし高齢者激励会実施いきいきサロン 46ヶ所（昨年度48ヶ所）
3. 新設サロン 下貫津 1ヶ所（昨年度0ヶ所）
4. 解散サロン 金谷 1ヶ所（昨年度0ヶ所）
5. おためしサロン 下貫津 1ヶ所（昨年度0ヶ所）
6. いきいきサロン活動への支援
 - (1) 各種講師紹介、保険加入、福祉バスの利用支援（年間随時）
 - (2) 開設・運営の打ち合わせ、協議への参加協力、情報提供（年間随時）
7. 歩（ふ）れあいだよりの発行
 - (1) 配布先
 - ア いきいきサロン 62ヶ所
 - イ 地域カフェ 11ヶ所
 - (2) 内容
 - ア Vol.6（7月発行）
合同研修会報告、健康福祉まつり案内、サロン・カフェ取材記事、イベン

ト情報他

イ Vol.7 (11月発行)

健康福祉まつり報告、新サロン紹介、サロン・カフェ取材記事、共同募金紹介、イベント情報他

ウ Vol.8 (3月発行)

報告書提出依頼、サロン・カフェ取材記事、フードドライブの提供他

8 新型コロナウイルス感染予防のための対応

(1) いきいきサロン・地域カフェ推進事業合同研修会

ア 期日 6月7日

イ 参加者 32名参加

ウ 内容

(ア) 講義 通いの場における新型コロナウイルス感染症対策、百歳体操について(市保険給付課介護支援係)

(イ) コロナ禍における通いの場の全国の活動実践例について

(2) マスク着用の検討依頼 3月13日

(3) 助成金

サロン活動を1回以上開催した場合(訪問活動含む)は、助成金の返金を不要とする。

エ 地域カフェ推進事業の実施

平成29年10月より、市の委託を受けて、介護保険総合事業の地域介護予防活動支援事業の枠組みにより、各地域に高齢者を中心とする集いの場を設け、交流及び介護予防の機会を提供する「地域カフェ推進事業」の運営支援に努めました。

地域(市立公民館区域)を拠点に、月1回以上の集いの場を開催、地域外の高齢者の参加も可能とすることで、町内会での開催を中心とした「いきいきサロン」事業との相乗効果を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の対策として、感染対策についての研修会を開催しながら、3月13日以降もマスク着用等の検討依頼を行いました。

1 地域カフェ推進事業開設数と主な内容 11ヶ所(昨年度11ヶ所)※休止

1ヶ所(昨年度2ヶ所)

- (1) 天童南部「ふれあい南部茶屋」(講話・軽体操)
- (2) 天童中部「くらつ川」(歌唱、軽体操)
- (3) 老野森「たんときてけろ」(訪問活動、喫茶、軽体操)
- (4) 糠塚「さくらカフェ」(喫茶、軽体操)
- (5) 天童北部「いるばある」(講話、軽体操)
- (6) 蔵増「蔵」(DVD鑑賞、講話、健康体操)
- (7) 寺津「うたごえ喫茶」(休止)
- (8) 上貫津「龍神の里カフェ」(歌唱、軽体操)
- (9) 田麦野「すみれ会」(スリッパ卓球、茶話会)
- (10) 山口「お茶のみ処」(マジック、昔語り、軽体操)
- (11) 高揃「こっ茶来い」(健康講話、昔語り、音楽鑑賞、健康体操)

- 2 地域カフェ推進事業への支援活動
 - (1) 開設時準備作業への協力（打合せへの参加他）
 - (2) 開設日時の市報掲載への協力
 - (3) 保険加入支援・講師等の紹介
- 3 新型コロナウイルス感染予防のための対応
 - (1) いきいきサロン・地域カフェ推進事業合同研修会
 - ア 期日 6月7日
 - イ 参加者 7名参加
 - ウ 内容
 - (ア) 講義 通いの場における新型コロナウイルス感染症対策、百歳体操について（市保険給付課介護支援係）
 - (イ) コロナ禍における通いの場の全国の活動実践例について
 - (2) マスク着用の検討依頼 3月13日

オ 生活支援コーディネーターの配置

天童市生活支援・介護予防体制整備推進協議体を開催しながら、住民ニーズと提供主体のマッチングや連携及び調整を行いました。また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように地域の助け合い活動を推進する担い手を養成するための天童市住民助け合い活動養成講座や体験学習を企画し、支え合いの基盤づくりを行いました。さらに講座の受講生を中心に結成した「天童びすけっと（微助っ人）会」の活動をサポートし、住民主体の支え合い活動の推進に努めました。

また、天童市内在住の高齢者向け福祉サービスの向上を目的とし、各地域または事業所等で実施している高齢者向け生活支援サービス等を掲載した社会資源ガイドブックのリニューアルを行いました。

なお、自立支援型地域ケア会議に参加し、個別事例の検討において行う課題分析等を通じて、地域に共通するニーズ等の情報収集や社会資源の情報提供に努めました。

- 1 生活支援・介護予防体制整備推進協議体
 - (1) 期日
 - ア 5月17日
 - イ 2月17日
 - (2) 委員数 9名
- 2 自立支援型地域ケア会議への参加 12回（昨年度17回）
- 3 天童市住民助け合い活動養成講座 3回（昨年度3回）
 - (1) 第1回
 - ア 期日 9月8日
 - イ 場所 市立天童北部公民館
 - ウ 参加者 19名
 - エ 内容
 - (ア) 講演「なぜ、今、助け合いが必要なのか」（公益財団法人さわやか福祉財団理事 鶴山芳子氏）
 - (イ) ワークショップ「あなたにとって理想の地域は？そのために必要なこ

とは何か考えてみよう」(講師 公益財団法人さわやか福祉財団理事
鶴山芳子氏・アドバイザー NPO 法人ふれあい天童理事長 加藤由紀
子氏)

(2) 第2回

ア 期日 10月19日

イ 場所 市立天童北部公民館

ウ 参加者 18名

エ 内容

(ア) 振り返り 市社会福祉協議会

(イ) ワークショップ「理想の地域を実現するために、自分が今できること
は何か考えてみよう」(アドバイザー 公益財団法人さわやか福祉財団
理事 鶴山芳子氏・NPO 法人ふれあい天童理事長 加藤由紀子氏)

(3) 第3回

ア 期日 12月20日

イ 場所 市総合福祉センター

ウ 参加者 12名

エ 内容

(ア) 体験学習の振り返り 市社会福祉協議会

(イ) ワークショップ「体験学習を踏まえ、自分がやりたい活動について話
してみよう」(講師 公益財団法人さわやか福祉財団 理事鶴山芳子
氏・NPO 法人ふれあい天童理事長 加藤由紀子氏)

(ウ) フリートーク「お茶を飲みながらゆっくりとこれから天童について語
り合おう」

(4) 体験学習

ア NPO 法人ふれあい天童

(ア) 回数 5回

(イ) 参加者 19名

イ 地域カフェ推進事業

(ア) 回数 5回

(イ) 参加者 20名

4 天童びすけっと(微助っ人)会

(1) 第1回

ア 期日 1月11日

イ 場所 市総合福祉センター

ウ 参加者 14名

エ 内容 自己紹介・この集まりの名称を決めよう

(2) 研修参加

ア 期日 2月6日

イ 場所 市総合福祉センターにおいてオンライン研修

ウ 参加者 6名

エ 内容 長野県・移動サービス事例報告会

(3) 第2回

- ア 期日 2月8日
- イ 場所 市総合福祉センター
- ウ 参加者 12名
- エ 内容 長野県・移動サービス事例報告会内容、移動サービスについて
- (4) 第3回
 - ア 期日 3月9日
 - イ 場所 山形国際交流プラザ
 - ウ 参加者 10名
 - エ 内容 身近な地域での福祉活動を進めるための担い手養成講座
- 5 市社会資源ガイドブック
 - (1) 掲載項目 ゴミ出し支援、ゴミ処分、除雪支援、生活支援、移動支援、居場所、見守り支援、住民による有償の助け合い活動他
 - (2) 掲載サービス数 397件

カ 社会福祉法人連絡会活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインにおいて社会福祉法人連絡会会議を開催し、社会福祉法人相互の情報交換を行いました。また、地域福祉の推進に係る地域住民等との連携及び地域における福祉人材の育成等を目的に、職員を講師として派遣する天童の歩（ふ）くし出前講座を開設しました。さらにいきいき・ふれあい健康福祉まつりにおいて、福祉なんでも相談コーナー及び職員紹介ポスターを掲示した福祉職員 PR コーナーを開設し、周知活動に努めました。

- 1 幹事会
 - (1) 期日 7月29日
 - (2) 参加法人 2社会福祉法人
 - ア 天童福祉厚生会
 - イ 天童まいづる会
- 2 オンライン会議
 - (1) 期日 10月27日
 - (2) 内容
 - ア 天童の歩（ふ）くし出前講座について
 - イ いきいき・ふれあい健康福祉まつり2022について
 - ウ 講演 重層的支援体制整備事業について（県地域福祉推進課）
 - (3) その他
 - ア 天童市社会福祉法人連絡会アンケートの結果について
 - イ 県共同募金会地域福祉・在宅配分について
 - ウ 除雪ボランティアの募集について
- 3 天童の歩（ふ）くし出前講座
 - (1) 登録法人 8社会福祉法人
 - 山形県玉葉会、小百合保育園、天童福祉厚生会、天童まいづる会、つるかめ、にこにこ子どもの家、虹の会、市社会福祉協議会
 - (2) 登録講座数 23講座

高齢者の言葉のリハビリ、コーヒー講座、いま注目される介護、知って得する介護保険サービス、精神障がいを理解しよう、成年後見制度他

(3) 開設数 16回

4 福祉なんでも相談コーナー

(1) 期日 10月8日(いきいき・ふれあい健康福祉まつり2022開催時)

(2) 参加法人数及び参加職員数 6法人12名

(3) 相談者 2名

5 福祉職員PRコーナー

(1) 期日 10月8日(いきいき・ふれあい健康福祉まつり2022開催時)

(2) 参加法人数 12法人

(3) 職員紹介ポスター数 25枚

6 会員法人 市内に所在地を置く14社会福祉法人

山形県玉葉会、小百合保育園、天童福祉厚生会、天童まいつる会、睦会、羽陽の里、みらい、つばさ会、つるかめ、星和学園、にこにこ子どもの家、虹の会、つくし保育園、市社会福祉協議会

キ 子育て支援事業の実施

市母子寡婦福祉連合会の子ども食堂等や地域社会福祉協議会の子育て支援活動と協力しながら、親子の集いや子どもたちの遊びの場づくり、親同士のコミュニケーションの場づくりに努めました。また、「地域食堂・子ども食堂」新規立ち上げ研修会を開催しながら、子ども食堂等の新規立ち上げ希望団体への支援や既存食堂へのフードドライブからの食品等の提供、助成金等に関する情報提供及び協力団体の紹介等を通じた運営支援を行いました。

1 市母子寡婦福祉連合会共催事業

(1) 天童子ども食堂 5回(昨年度1回)

ア 夏野菜収穫体験&お料理教室(歩農園協力) 7月31日 5世帯参加

イ 芋煮会(天童庖祥会協力) 11月6日 6世帯参加

ウ 親と子のクリスマスパーティー 12月11日 14世帯参加

エ タコ焼きづくり 1月22日 10世帯参加

オ いちご狩り 2月12日 7世帯参加

(2) フードパントリー 9回(昨年度6回)

ア 期日 6月26日・7月31日・9月3日・11月6日・12月11日
12月25日・1月22日・2月12日・2月26日

イ 内容 食品や弁当の配布

2 子育て支援活動への助成

(1) 長岡地域社会福祉協議会「子育てサロンりんごっこ」

ア 開催日 毎月第2・第4木曜日

イ 開催回数 24回(昨年度22回)

ウ 内容 読み聞かせや季節行事、お誕生日会等

(2) 高掬地域社会福祉協議会「おひさま」

ア 開催日 毎月第3水曜日

- イ 開催回数 12回（昨年度6回）
- ウ 内容 読み聞かせや季節行事、親子ふれあい遊び等
- 3 子ども食堂・地域食堂への支援・協力
 - (1) 開設団体
 - ア 天童子ども食堂
 - イ リゴラ食堂
 - ウ げんきか〜い
 - (2) 支援内容
 - ア フードドライブを活用した食材等の提供支援
 - イ 広報活動を通じた市民への周知活動
 - ウ 他団体の助成金に関する情報提供
 - エ 協力団体の紹介等
- 4 「地域食堂・子ども食堂」新規立ち上げ研修会
 - (1) 期日 7月25日
 - (2) 参加者 49名
 - (3) 内容
 - ア 報告 「天童市の子育て世帯の現状について」 市子育て支援課
 - イ 基調講演 「子ども食堂・地域食堂とは」 県社会福祉協議会
 - ウ 実践者講話
 - (ア) グループえがお
 - (イ) 成沢みんなの食堂

(2) 社会福祉啓発と福祉人材の育成

ア 社会福祉協議会だより発行やホームページの活用

本会の趣旨を伝え、地域福祉活動を啓発するため、地域話題を取り入れながら、より分かりやすく、充実した誌面づくりに努めました。また、ツイッターでの迅速な投稿やホームページにYouTube（動画）をアップし、音声等の多くの情報を伝えながら印象に残る情報発信に努めました。

- 1 社会福祉協議会だより（年4回発行）
 - (1) 配布先
 - ア 市内全世帯 約22,800世帯
 - イ 福祉関係施設等 県内約100施設
 - (2) 内容
 - ア Vol.185（6月15日発行）
ブルーペイント、事業報告・収支決算、災害ボランティアセンター、市福祉推進員紹介、市多機関協働支援センター紹介他
 - イ Vol.186（10月1日発行）
ゴミ拾いボランティア、共同募金お願い、包括支援センター中央紹介、市成年後見センター紹介、復興支援他
 - ウ Vol.187（1月15日発行）

いきいき・ふれあい健康福祉まつり、新年会長挨拶、福祉功労者表彰紹介、介護サービス事業所紹介、青い空・白い雲プロジェクト、生活福祉資金案内、ボランティアサークル紹介他

エ Vol.188 (3月15日発行)

創学館車いすメンテナンスボランティア、子ども食堂・地域食堂の活動紹介、共同募金実績報告、市生活自立支援センター案内、福祉サービス利用援助事業案内、除雪ボランティア他

2 社会福祉協議会会費集金用チラシ (7月発行)

- (1) 配布先 市内全世帯 約22,800世帯
- (2) 内容 事業内容及び予算状況

イ いきいき・ふれあい健康福祉まつり2022の企画・開催

福祉や医療の関係団体、市、本会職員による事務局会議を開催して、内容の見直しを行いながら企画立案を行い、市民の健康と福祉の祭典にふさわしい、誰もが楽しく参加できるコーナーを新型コロナウイルス感染症に留意しながら、3年ぶりに開設しました。

- 1 日時 10月8日(土) ※6日(木)～10日(月)は文化祭のみ開催
- 2 会場 市総合福祉センター
- 3 コーナー等
 - (1) 大会開会式(天童市社会福祉功労者表彰・天童ひまわり園によるアトラクション)
 - (2) 縁日広場
 - (3) クイズウォークラリー(新コーナー)
 - (4) あったかフェテンドウ
 - (5) 文化祭
 - (6) 福祉なんでも相談・福祉職員PRコーナー(新コーナー)
 - (7) 子ども遊びコーナー(新コーナー)
 - (8) フードドライブ受付(新コーナー)
 - (9) 食生活改善コーナー
- 4 参加人数 約700名(平成30年度延1,078名)

ウ 社会福祉功労者表彰の実施

社会福祉の分野で顕著な貢献をされた個人・団体へ感謝を表し、その功績をたたえるため、審査会での検討を経て、健康福祉まつり開会式の機会に表彰を行いました。

- 1 市社会福祉功労者表彰審査会
 - (1) 期日 8月22日
 - (2) 委員数 7名
- 2 天童市社会福祉功労者表彰式
 - (1) 期日 10月8日
 - (2) 個人 15名(昨年度16名)

緑川愼一様、高橋朱美様、富樫知子様、大場良子様、加藤和子様
丸山ふさ子様、森とめ様、加藤俊子様、中嶋敬子様、佐藤千佐子様
稲葉一友様、小林美紀子様、武内幸一様、森谷ミチ様、菊地サムエル様
(3) 団体 0組 (昨年度2組)

エ ふれあいまちづくり講座開設

いきいきサロン等の福祉活動や小中学校での福祉教育を充実させるため、専門資格や特技を持っている講師の登録及び派遣を行いました。また、広報誌に掲載し講座の周知や講師の人材発掘に努めました。

- 1 登録講師 個人・団体 36講師 (昨年度38講師)
- 2 講座内容 健康講話、音楽療法、手話指導、軽体操、昔語り、マジック、大道芸、楽器演奏、落語、押し花、知的・発達障がい疑似体験、ガマの油売り口上等
- 3 派遣実績
 - (1) 件数 64件 (昨年度48件)
 - (2) 派遣場所 いきいきサロン、地域カフェ推進事業、地域社会福祉協議会、福祉施設、小学校、市老人クラブ連合会、市立公民館等

オ 福祉のこころ実践校事業の実施

児童生徒の社会福祉・ボランティア活動への関心を高めるため、市内の小中学校を「福祉のこころ実践校事業」協力校に指定し、各学校との連携・協力のもと、地域ぐるみの福祉教育活動を展開しました。また、福祉体験学習メニューブックのリニューアルを行いながら、学習内容の相談や講師派遣、備品貸出等の福祉体験学習のためのサポートに努めました。

- 1 福祉のこころ実践校活動 8校 (昨年度10校)
 - (1) 学校名 天童南部小・天童中部小・蔵増小・寺津小・津山小・山口小
高揃小・荒谷小
 - (2) 補助金合計額 260,000円 (昨年度310,000円)
- 2 福祉体験学習
 - (1) 障がい者駐車場青色塗装 荒谷小 9月22日 12名 (5年生)
 - (2) 地域交流事業 (干し柿づくり) 寺津小 11月3日 74名 (全校児童)
 - (3) 手話学習 蔵増小 11月17・24日 32名 (4年生)
 - (4) ボッチャ体験 高揃小 12月19日 62名 (4年生)
 - (5) 世代交流事業 (団子さし他) 1月17日 36名 (1・2年生)
 - (6) ボッチャ体験 山口小 1月18日 55名 (5・6年生)
 - (7) 高齢者宅除雪ボランティア 荒谷小 2月1日 28名 (5・6年生)
 - (8) 福祉施設等への花笠踊りDVD 寄贈 天童中部小 2月 637名 (全校児童)

カ 介護職員初任者研修受講助成事業

社会福祉協議会だより、ホームページにて広報に努めましたが、申請希望者があ

りませんでした。

キ 実習生の受入れ

社会福祉士等を目指す学生を中心に地域福祉の実践や相談援助のあり方、他機関との連携等の社会福祉協議会の業務に対する理解と人材育成を目的として実習生の受入れを行いました。

1 実習生 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科4年生 1名(新規)

(3) ボランティア活動の育成

ア ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や既存のボランティア団体への支援、情報提供を継続するとともに、社会福祉協議会だよりへのボランティア関連記事掲載により、幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行いました。また、「びゅーていふる■てんどう」をスローガンとして、除雪やゴミ拾い、募金等のボランティア活動を実施し、活動の機会を提供するとともに地域の助け合い活動を推進しました。

- | |
|--|
| 1 ボランティア登録
(1) 個人 13名(昨年度13名)
(2) 団体 55団体(昨年度52団体) |
| 2 ボランティア相談対応
(1) 周知及び活動依頼(ボランティアの紹介・参加協力依頼) 1件(昨年度0件)
(2) 活動希望(活動先の紹介) 6件(昨年度8件)
(3) ボランティア団体への支援
(4) ボランティア団体活動費助成事業の実施 5件(昨年度5件)
(5) ボランティア室の設置、ロッカー貸出 |
| 3 天童建設総合組合による家屋補修事業
(1) 期日 6月26日
(2) 件数 6件(昨年度2件) |
| 4 ボランティア活動
(1) 天童夏まつりゴミ拾いボランティア(新規)
ア 期日 8月9日
イ 参加者 約130名
(2) モンテディオ山形公式戦共同募金街頭募金ボランティア(新規)
ア 期日 10月23日
イ 参加者 14名(羽陽学園短期大学、nico こえ)
(3) 除雪ボランティア
ア 期日 1月14日・28日
イ 参加者 34名(天童高校、モンテディオ山形ジュニアユース、パーソルフクトリーパートナーズ、個人ボランティア)
ウ 対象者 田麦野地域の高齢者宅(7世帯) |

5 各種団体等のボランティア活動への協力

- (1) 創学館高校車いすメンテナンスボランティア
- (2) 山形県青年の家 (nico こえ)

イ 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

平成23年度に作成した災害ボランティアセンター設置マニュアルをもとに、行政や県社会福祉協議会、地域社会福祉協議会、天童青年会議所、NPO等と協力して、有事に備えて災害ボランティアセンター立上げまでの協議やボランティア活動支援の訓練を3年ぶりに実施しました。

また、8月3日に発生した豪雨災害の被害を受けた飯豊町へのボランティアバスの運行や飯豊町及び川西町へ職員を派遣し、両町の災害ボランティアセンターの運営支援にあたりました。

1 災害ボランティアセンター設置訓練

(1) 事前打合

ア 期日 9月13日

イ 参加者 9名

天童青年会議所、NPO 法人ふれあい天童、山形県隊友会天童支部、津山地域社会福祉協議会、市危機管理室、県社会福祉協議会

(2) 実施訓練

ア 期日 10月2日 (市総合防災訓練において実施)

イ 場所 市立津山小学校グラウンド

ウ 訓練内容

(ア) 災害ボランティアセンターについて

a 災害ボランティアセンターの機能・目的について

b 山形県内の災害状況及び活動状況について

c 災害ボランティアセンターの業務内容について

(イ) ニーズ調査 (被災者の困りごとの聞き取り) について

(ウ) 運営訓練

a 受付班

b マッチング班

c 資機材班

d 報告班

エ 参加協力者 30名 (平成30年度32名)

天童青年会議所、NPO 法人ふれあい天童、山形県隊友会天童支部、津山地域社会福祉協議会、市危機管理室、県社会福祉協議会、市長公室まちづくり推進係、市社会福祉課調整係、県立天童高等学校

2 災害ボランティアセンターへの職員派遣

(1) 飯豊町

ア 期日 6日間 (8月16日・19日・20日・21日・26日・9月3日)

イ 派遣人数 延8名

- (2) 川西町
 - ア 期日 1日間(8月23日)
 - イ 派遣人数 延1名

3 災害ボランティアバスの運行

- (1) 期日 8月17日
- (2) 場所 飯豊町
- (3) 人数 16名

2 生活困窮者自立相談支援事業・各種相談援助事業の実施

(1) 天童市生活自立支援センターの運営

「生活困窮者自立支援法」に定められた必須事業である自立相談支援事業の委託を受けて、住居確保給付金及び諸福祉制度等を活用し、生活困窮者の相談支援にあたりました。令和4年度は、生活福祉資金の特例貸付が9月末まで、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金が12月末で申請の受付が終了したことにより、新型コロナウイルス感染症の影響による相談件数は減少傾向ではありますが、生活に困窮されている一人ひとりの状況に合わせた相談支援を実施しました。

また、生活困窮者支援を通じた地域づくりを目標に、生活困窮者支援の早期把握や見守りのための地域ネットワークを構築するため、各関係機関を参集した運営会議や、周知活動を行いました。

1 自立相談支援事業

- (1) 新規相談件数(実人数) 193件(昨年度284件)
- (2) 自立支援プラン作成数 18件(昨年度9件)
- (3) 支援実績(延件数)

- ア 電話相談・連絡 786件(昨年度968件)
- イ 他機関との連絡調整 515件(昨年度566件)
- ウ 面談 618件(昨年度1,091件)
- エ 訪問及び同行支援 124件(昨年度130件)

(4) 支援調整会議

- ア 回数 12回(昨年度9回)
- イ 期日 4月5日・5月10日・6月3日・7月5日・8月5日
9月6日・10月4日・11月4日・12月5日・1月5日
3月3日・3月23日

(5) 運営会議

- ア 期日 2月21日
- イ 参集者 13名

山形公共職業安定所、日本司法支援センター山形地方事務所、やまがた若者サポートステーション、医療法人社団斗南会秋野病院、市学童保育連絡協議会、市障がい者自立支援協議会相談支援部会、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保

険給付課介護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係

2 住居確保給付金

(1) 相談件数（実人数） 33件（昨年度46件）

(2) 申請件数（実人数） 7件（昨年度9件）

ア 新規 7件（昨年度5件）

イ 延長 2件（昨年度4件）

ウ 再延長 0件（昨年度2件）

エ 再支給 2件（昨年度4件）

3 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 ※令和4年12月まで

(1) 相談件数 55件（昨年度104件）

(2) 申請件数 14件（昨年度14件）

4 周知活動

福祉推進員新任者研修（5月31日）・中央ライオンズクラブ例会（11月1日）・歳末たすけあい配分委員会（市内13地域12月7日～9日）・地域社会福祉協議会会議（1月30日）・社協だより（3月15日号）

(2) 天童市多機関協働支援センターの運営

市から委託を受けて、令和3年度から、重層的支援体制整備事業の実施に向けた移行準備事業を実施しました。介護や障がい、育児、生活困窮、新型コロナウイルス感染症による生活への影響等の複合的な問題を抱える世帯やどこに相談したらよいか分からないといった制度の狭間の問題を抱える世帯の相談を受け、関係機関のコーディネートを行い、複雑化した課題の解決に努めました。

また、市内関係機関等への周知活動を通し、相談支援のネットワーク構築に努めました。

1 新規相談件数（実件数） 68件（昨年度63件）

2 支援実績（延件数）

(1) 電話相談・連絡 410件（昨年度325件）

(2) 訪問及び同行支援 88件（昨年度101件）

(3) 面談 220件（昨年度251件）

(4) 他機関との連絡・調整 298件（昨年度333件）

(5) ケース会議（支援調整会議含む） 17件（昨年度15件）

3 運営会議（相談支援包括化推進会議）

(1) 期日 2月21日

(2) 参集者 13名

山形公共職業安定所、日本司法支援センター山形地方事務所、やまがた若者サポートステーション、医療法人社団斗南会秋野病院、市学童保育連絡協議会、市障がい者自立支援協議会相談支援部会、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉

課障がい支援係

4 周知活動

福祉推進員新任者研修（5月31日）、置賜地方社会福祉協議会連絡会職員研修（10月25日）、歳末たすけあい配分委員会（市内13地域12月7日～9日）、学校事務改善研修（12月14日）、地域社会福祉協議会会議（1月30日）・社協だより（6月15日号）

(3) その他の相談援助事業の実施

ア 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方、日常生活に不安のある方が、安心して自立した生活を送れるよう、他機関や他制度と調整しながら、金銭管理や通帳の預かり等の援助、相談事業を行いました。

- 1 利用者 19名（昨年度25名）
 - (1) 高齢者 9名（昨年度13名）
 - (2) 知的障がい者 5名（昨年度5名）
 - (3) 精神障がい者 5名（昨年度7名）
- 2 サービス支援回数 302回（昨年度357回）
※ 生活支援員5名・専門員2名で対応
- 3 相談及び連絡調整回数 延1,634回（昨年度1,085回）
※ 専門員2名で対応
- 4 新規相談件数（延件数） 31件（昨年度23件）
- 5 新規契約件数 5件（昨年度6件）
- 6 支援内容 通帳等預かりや生活費の払出、金銭等に関わる相談支援、福祉サービス利用料等の支払い、口座振替等の手続

イ 法人後見業務・成年後見センター事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がい等の理由で判断能力の不十分な方に対して、本会が法人として成年後見人等に就任し、財産管理や身上保護を通して支援を行いました。なお、法律関係者や医療関係者、福祉関係者、行政関係者、学識経験者で構成した運営委員会を開催し法人後見事業の適正な運営を図りました。

また、市から成年後見センター事業の委託を受けて、成年後見制度の利用相談や必要に応じて本人及び親族の家庭裁判所に対する申立て手続の支援の他、周知活動を実施し、制度の利用促進に努めました。

- 1 法人後見事業
 - (1) 新規受任件数 4件（昨年度3件）
 - (2) 終了件数 1件（昨年度3件）
 - (3) 受任合計数 7件（昨年度4件）
 - ア 後見 3件
 - イ 保佐 3件
 - ウ 補助 1件

(4) 運営委員会

ア 期日 12月13日

イ 委員数 5名

2 成年後見センター事業

(1) 成年後見制度に関する相談支援（実件数） 41件（昨年度35件）

ア 制度全般に関する相談 17件（昨年度7件）

イ 制度利用及び申立てに関する相談 12件（昨年度18件）

ウ 法人後見受任に関する相談 1件（昨年度0件）

エ ケース方針調整会議の相談 10件（昨年度10件）

オ 後見業務に関する相談 1件（昨年度0件）

(2) ケース方針調整会議

ア 会議開催回数 7回（昨年度6回）

イ 調整ケース件数 10件（昨年度10件）

ウ 受任団体

(ア) 山形県弁護士会 0件（昨年度0件）

(イ) 成年後見センターリーガルサポート山形支部（山形県司法書士会）
2件（昨年度1件）

(ウ) 成年後見センターぱあとなあ山形（山形県社会福祉士会） 3件（昨
年度6件）

(エ) 本会法人後見 2件（昨年度3件）

(オ) 受任前に死亡 3件（昨年度0件）

(3) 周知活動

福祉推進員新任者研修（5月31日）、社協だより（10月1日号）、歳末
たすけあい配分委員会（市内13地域12月7日～9日）、地域社会福祉協
議会会議（1月30日）、歩くし出前講座講師（楽寿会老人クラブ1月27
日）

ウ 生活福祉資金・たすけあい資金の貸付及び償還指導

新型コロナウイルス感染症の影響で減収、離職した方を対象とした生活福祉資金
特例貸付については、9月末で申請の受付が終了しましたが、これまで通り、主に
低所得世帯の支援策として、安定した生活の実現を目的に民生委員・児童委員及び
行政と連携しながら、生活費や修学費用等の貸付を行いました。

また、借受人の順調な償還を図るため、文書や電話での連絡に加え、面接相談会
の開催等により生活状況把握及び償還指導を強化しました。

1 生活福祉資金

(1) 貸付状況

ア 相談件数（延件数） 256件（昨年度165件）

イ 貸付件数 26件（昨年度20件）

(2) 償還状況

ア 償還完了 14件（昨年度5件）

イ 償還免除 2件（昨年度1件）

- ウ 貸付件数 189件 (昨年度178件)
 - (ア) 償還開始前 38件 (昨年度45件)
 - (イ) 順調償還 (直近で滞納回数0~2回) 70件 (昨年度58件)
 - (ウ) 滞納 81件 (昨年度75件)
- (3) 償還指導
 - ア 対象 61件 (昨年度53件)
 - イ 償還面接相談会
 - (ア) 期日 11月29日
 - (イ) 件数 2件 (昨年度4件)
 - ウ 面接日変更 1件 (昨年度0件)
 - エ 訪問 29件 (昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)
 - オ 電話 4件 (昨年度6件)
- 2 生活福祉資金特例貸付 (新型コロナウイルス特例) ※令和4年9月まで
 - (1) 貸付状況
 - ア 相談件数 (延件数) 78件 (昨年度352件)
 - イ 貸付件数 28件 (昨年度202件)
 - (ア) 緊急小口資金特例貸付 14件 (昨年度82件)
 - (イ) 総合支援資金特例貸付 14件 (昨年度65件)
 - (ウ) 総合支援資金特例貸付 (再貸付) 0件 (昨年度55件) ※令和3年12月まで
 - ウ 償還免除 190件
 - (ア) 緊急小口資金特例貸付 121件
 - (イ) 総合支援資金特例貸付 69件
 - エ 償還猶予 18件
 - (ア) 緊急小口資金特例貸付 10件
 - (イ) 総合支援資金特例貸付 8件
- 3 たすけあい資金貸付状況
 - (1) 貸付件数 8件 (昨年度7件)
 - (2) 償還完了 7件 (昨年度10件)
 - (3) 償還中 16件 (昨年度17件)

エ ささえあい相談所(法律相談)

市民の法律に関する日常生活上の困りごとや心配ごとの解決に向け、身近で気軽な相談の場を提供するため、山形県弁護士会より会員を派遣いただき、弁護士による無料法律相談会を開催し法律トラブルへの初期対応を図りました。

- 1 無料法律相談会
 - (1) 開催日 毎月第2水曜日
 - (2) 開催時間 午後1時30分から午後4時まで ※1人30分
 - (3) 相談件数 47件 (昨年度46件)
- 2 主な相談内容 債務や金銭の貸借、離婚、相続、調停等

オ フードバンク・フードドライブ・フードパントリー事業の実施

個人及び団体より供与いただいた食品等を生活困窮者等の必要と認められる世帯や地域社会福祉協議会及び通いの場等における調理を伴う交流会、ボランティア活動者等に提供を行うフードバンク、フードドライブ事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、保健所から自宅療養等を指示されたため、食品確保が困難となっている世帯に対し、協力いただいた食品等を提供いたしました。

1	供与件数	177件	(昨年度154件)
	(1) フードドライブ	176件	(昨年度152件)
	ア 個人	144件	(昨年度126件)
	イ 団体	32件	(昨年度26件)
	東洋羽毛北部販売(株)福島営業所、天童北部地区民生委員会、ヨークベニマル、ダイナム山形天童店、即圓寺、來運寺、県社会福祉協議会、JAてんどう女性部、天童生協、天童中央ライオンズクラブ、天童市役所、荒谷小学校、退職女教員の会天童、おーばんホールディングス、羽陽の里、飯豊町社会福祉協議会他		
	(2) 福わたし	1件	(昨年度2件)
2	提供先	218件	(昨年度289件)
	(1) 生活困窮者	168件	(昨年度225件)
	(2) 子ども食堂・地域食堂	12件	(昨年度13件)
	(3) 学習支援教室及び母子寡婦福祉連合会	3件	(昨年度2件)
	(4) 通いの場	0件	(昨年度24件)
	(5) 福わたし	9件	(昨年度12件)
	(6) 生活保護受給者	8件	(昨年度0件)
	(7) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等への食料品等の支援件数	3件	(昨年度4件)
	(8) その他	15件	(昨年度9件)

カ 避難者生活相談支援事業の実施

東日本大震災の影響により、県内に避難されている避難者の方々の安定した日常を確保するとともに、円滑な帰還や定住、生活再建を支援するため、県社会福祉協議会の委託を受け、「避難者生活支援」事業に取り組みました。

2名の相談員を中心に、避難者の方々の地域での孤立防止及び社会参加の機会、仲間づくりを目的に、「訪問活動」「つどいの場づくり」を展開しました。また、各種関係機関との連携、情報収集を図り、広報誌発行による避難者への情報提供を行いました。

1	訪問活動実績
	(1) 訪問回数 97回 (昨年度99回)
	(2) 面接回数 48回 (昨年度47回)
	(3) 訪問対象世帯 16世帯 (昨年度18世帯)
2	避難者の集い(ちえっと寄れ茶)
	(1) 開催実績 6回 延25人 (昨年度8回 延30人)

- ア 5月24日 5名
- イ 7月21日 5名
- ウ 9月16日 3名
- エ 12月9日 5名
- オ 1月24日 4名
- カ 3月 7日 3名

(2) 内容 お茶会を楽しみ、情報交換等を行う。

3 共同作業を通じた仲間づくり

(1) 開催実績 3回 延14名 (昨年度3回 延15名)

- ア 7月21日 5名
- イ 12月9日 5名
- ウ 1月24日 4名

(2) 内容 フライパンでパン作り、クリスマスケーキ作り、恵方巻と飾り寿司作り

4 関係機関との連携・協力

- (1) 山形県復興・避難者支援室 (随時)
- (2) 市危機管理室 (月1～2回)
- (3) 市生活自立支援センター (随時)
- (4) 市地域包括支援センター (随時)
- (5) ボランティア団体 (随時)

3 共同募金活動

(1) 一般募金・歳末たすけあい募金への協力

社会福祉法人山形県共同募金会天童市共同募金委員会として積極的な共同募金運動を展開し、一般世帯や法人、学校、職域などの多くの方々からの理解と協力を得ることができました。また、市内在住タレントのミッチーチェンさんとコラボグッズを作成し、ホームページやSNS等で幅広い世代に広報し、積極的に募金活動に努めました。

1 一般募金

- (1) 募金額 9,116,328円 (昨年度9,027,549円)
赤い羽根社会貢献及び災害対応自動販売機募金56,283円を含む
(昨年度47,860円)
- (2) 募金件数 19,170件 (昨年度18,794件)

2 歳末たすけあい運動

- (1) 募金額 5,204,400円 (昨年度5,222,020円)
- (2) 募金件数 16,747件 (昨年度16,622件)
- (3) 歳末たすけあい色紙頒布会

- ア 共催 宝樹社
- イ 会場・期日

- (ア) 市美術館ロビー 11月30日から12月7日まで
 - (イ) 市役所1階市民ロビー 12月8日から14日まで
 - (ウ) 市総合福祉センターホール 12月15日から21日まで
- ウ 作品数 22点 (昨年度22点)
- (ア) 色紙 12点
 - (イ) ハガキ 10点
 - (ウ) 募金額 (歳末たすけあい運動募金額に含む) 93,150円
(昨年度102,020円)

3 義援金

- (1) 山形県大雨災害 11,617円 2件 (昨年度 3,490円 2件)

(2) 赤い羽根共同募金(一般募金)への配分協力

山形県共同募金会による募金配分に対して、市内の学童保育所や地域福祉・在宅福祉事業への配分協力を行いました。

- 1 市内学童保育所臨時費配分
 - (1) 天童北部第二学童保育所 91,000円
 - (2) 天童南部第四学童保育所 98,000円
 - (3) あらやっ子児童クラブ 99,000円
- 2 地域福祉・在宅福祉事業配分
 - (1) 天童子ども食堂及びひとり親家庭の居場所づくり事業 300,000円
 - (2) 天童市除雪ボランティア事業 100,000円
 - (3) 天童市社会福祉法人連絡会事業 100,000円

(3) 歳末たすけあい募金の適正配分

歳末たすけあい募金の戸別募金については、歳末たすけあい配分委員会担当者会議において、要支援世帯や地域福祉事業等への適正な配分のあり方等を検討し、各地域の配分対象基準の平準化や適正配分を実施いたしました。なお、篤志寄付についても実施いたしました。

- 1 歳末たすけあい募金戸別募金配分内容
 - (1) 配分額 5,076,250円 (昨年度4,990,000円)
 - (2) 配分件数 786件 (昨年度772件)
 - (3) 歳末たすけあい配分委員会担当者会議期日 9月30日
 - (4) 歳末たすけあい配分委員会
 - ア 日程 12月7日から9日まで
 - イ 開催回数 13地域毎に開催
 - (5) 歳末たすけあい配分委員会委員
地域社会福祉協議会、市民生委員・児童委員、町内会、市福祉推進連絡会、市連合婦人会、小学校、中学校、市立公民館他
- 2 歳末たすけあい募金篤志寄付配分内容

(1) 配分先等

- ア NPO法人ふれあい天童 40,000円
- イ 市内子ども食堂(2件) 80,000円
- ウ 天童市社会福祉協議会 8,150円

(4) 地域福祉活動推進プロジェクト(テーマ型募金)への協力

令和5年1月から3月まで山形県共同募金会にて、地域福祉推進活動に関する「テーマ型募金」を実施しました(当市からの配分申請団体はありませんでした)。

4 天童市地域包括支援センター中央の運営

(1) 総合相談支援事業

ア 総合相談・支援体制の充実

高齢者本人や家族等の相談内容に合わせ、関係機関との連携を図り、ワンストップサービスを意識した相談支援に努めました。

※相談件数は、延件数です。

- 1 相談件数 1,467件(昨年度1,689件)
 - (1) 介護保険関係、ケアマネ紹介及び申請代行 630件(昨年度575件)
 - (2) 医療との連携及び退院支援について 103件(昨年度166件)
 - (3) 困難事例(ア～ク) 255件(昨年度305件)
 - ア 認知症高齢者世帯 48件(昨年度25件)
 - イ 精神・知的・身体障がい者等家族世帯 36件(昨年度51件)
 - ウ 経済的困難 15件(昨年度42件)
 - エ 家族・親戚からの支援困難 7件(昨年度102件)
 - オ 支援受入拒否 60件(昨年度42件)
 - カ 地域からの孤立 40件(昨年度28件)
 - キ 利用できる施設不足 0件(昨年度4件)
 - ク 家族の介護力不足 49件(昨年度11件)
 - (4) 虐待 14件(昨年度19件)
 - (5) 虐待の可能性 66件(昨年度51件)
 - (6) 成年後見制度の活用、財産及び遺言関係 19件(昨年度43件)
 - (7) 消費者被害 1件(昨年度0件)
 - (8) その他 379件(昨年度530件)
- 2 受付形態別件数 959件(昨年度1,049件)
 - (1) 電話 653件(昨年695件)
 - (2) 訪問 86件(昨年度132件)
 - (3) 来所 217件(昨年度207件)
 - (4) 会議 3件(昨年度15件)

イ 在宅介護支援センターとの連携

地域の相談窓口の一つである在宅介護支援センターと連携しながら、情報共有及び同行訪問等により、地域の高齢者世帯に対して相談支援を行いました。

1 市在宅介護支援センター連絡会

(1) 開催回数 12回（昨年度11回）

(2) 参加者 保険給付課、地域包括支援センター（中央、めいこうえん）、在宅介護支援センター（清幸園、ラ・フォーレ天童、あこがれ）

ウ 地域におけるネットワークの構築

地域社会福祉協議会の研修会及び民生委員・児童委員協議会定例会への参加等、地域における関係者との連携強化を図り、地域の高齢者の見守り活動に係る意識啓発に努めました。

1 グループホーム等運営推進会議（7ヶ所 2ヶ月1回）の参加

2 地域密着型特別養護老人ホーム運営推進会議（3ヶ所 2ヶ月1回）の参加

3 第2回地域社会福祉協議会会議（1月30日）

4 民生委員・児童委員協議会定例会等

(1) 中部地域（2月1日）

(2) 成生地域（2月1日）

(3) 津山地域（2月3日）

(4) 山口地域（3月6日）

5 市福祉推進員新任者研修（5月31日）

エ 地域包括支援センターニュース発行と充実

消費者被害の防止、地域の福祉力向上を目的に、民生委員・児童委員、市福祉推進員、関係機関（行政、交番・駐在所、医療機関）、公共機関（行政窓口、公民館等）及び介護サービス事業所等に配布を行い広報活動に努めました。

1 天童市地域包括支援センターニュース

(1) 配付先 民生委員・児童委員、市福祉推進員、自治会長、関係機関等（約700部）

(2) 掲載内容

ア 45号（7月発行）

早めの介護予防、いきいき百歳体操、消費者トラブル情報、熱中症への対応

イ 46号（11月発行）

歯の健康、消費者トラブル情報、良い睡眠

ウ 47号（3月発行）

低栄養、加湿器の使用方法、消費生活センター情報

オ 地域支援事業申請に係わる支援及び調査等の代行業務

在宅介護や住み慣れた地域での高齢者の生活を支えることを目的に、福祉サービスの相談や申請代行、利用者調査、不在時の安否確認等を行いました。

1 乳酸飲料サービス事業

- | | |
|---|-------------|
| 2 | 見守り配食事業 |
| 3 | 紙おむつ支給事業 |
| 4 | 軽度生活援助事業 |
| 5 | 緊急通報体制等整備事業 |

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、包括的・継続的なケア体制を実施するため、医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の介護支援専門員、介護サービス事業者等の連携及び質の向上のための支援を行いました。

ア 地域ケア会議の開催

本人や関係者ととともに個別の検討を中心としたケア会議や自立支援を目的とした専門職による自立支援型地域ケア会議を開催しました。

- | | | | |
|---|-----------------------|-----|----------|
| 1 | 地域ケア会議の開催回数 | 10回 | (昨年度13回) |
| 2 | 自立支援型地域ケア会議(市主催)の開催回数 | 12回 | (昨年度17回) |

イ 主任介護支援専門員会議の開催

市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員の資質向上と活動の支援を目的に、学習会や市介護支援専門員連絡会の運営についての検討を中心に会議を開催しました。

- | | | | |
|-----|-------------|---|------------|
| 1 | 主任介護支援専門員会議 | 5回開催 | (年間5回開催予定) |
| (1) | 6月16日 | (オンライン開催) | |
| ア | 内容 | 主任介護支援専門員の役割と在り方について | |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 21名 | |
| (2) | 8月22日 | (オンライン開催) | |
| ア | 内容 | 主任介護支援専門員会議・介護支援専門員連絡会について、研修内容等についてのグループ討議 | |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 18名 | |
| (3) | 10月31日 | (オンライン開催) | |
| ア | 内容 | 主任ケアマネージャーに求められるスーパービジョンの理解 | |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 20名 | |
| (4) | 1月18日 | (オンライン開催) | |
| ア | 内容 | 困難事例検討会 | |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 21名 | |
| (5) | 3月14日 | | |
| ア | 内容 | 天童市における虐待の現状と対応について、令和5年度の事業計画(案)について | |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 23名 | |

ウ 介護支援専門員連絡会・介護サービス事業所連絡会の開催

主任介護支援専門員会議の検討内容を踏まえ、介護支援専門員連絡会を開催しました。

1	介護支援専門員連絡会	4回開催
(1)	4月26日(オンライン開催)	
ア	内容	市の施策説明
イ	参加者	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 47名
(2)	6月29日(オンライン開催)	
ア	内容	障がい福祉制度について
イ	参加者	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 48名
(3)	9月27日(オンライン開催)	
ア	内容	ハラスメント対策について
イ	参加者	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 44名
(4)	2月16日(オンライン開催)	
ア	内容	事例検討会
イ	参加者	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 42名

エ 医療と介護の連携

医療と介護の連携強化を目的に、市と天童市東村山郡医師会との合同研修会を開催しました。また、在宅医療を希望する方の相談窓口として、天童市東村山郡医師会と連携を行いました。

1	天童市東村山郡医師会及び市地域包括支援センター合同研修会	
(1)	期日	11月16日
(2)	内容	
ア	講演	「在宅での緩和ケアや人生会議(ACP)を担うのは？」
	講師	訪問診療クリニックやまがた 院長 奥山慎一郎 先生
(3)	参加者	72名
ア	介護保険事業所	31名(天童市30名、中山町1名)
イ	医師会	12名・歯科医師会 4名・薬剤師会 3名・事務局 3名
ウ	天童市	9名 中山町 4名
エ	地域包括支援センター	4名
オ	その他	2名
2	在宅医療・介護連携室「エール」との連携	
(1)	件数	1件(昨年度0件)
ア	医療	0件(昨年度0件)
イ	歯科	1件(昨年度0件)

オ 地域包括支援センター間の連絡調整

市地域包括支援センター間の活動報告や困難事例等の情報共有を行い、差異のない支援ができるように努めました。

1	市地域包括支援センター合同ミーティング
---	---------------------

- | |
|-------------------------------------|
| (1) 開催回数 11回 |
| (2) 参加者 保険給付課、地域包括支援センター（中央・めいこうえん） |

(3) 権利擁護事業

高齢者が様々な困難を抱えても、住み慣れた地域で尊厳のある生活を維持し、安心して暮らすことができるよう、市や近隣住民、市民生委員・児童委員、介護支援専門員等の連携を図り、専門的・継続的な支援を行いました。

ア 消費者被害の防止対策の推進

- | |
|---------------------------------|
| 1 天童市地域包括支援センターニュースによる啓発活動（年3回） |
| 2 市消費生活センターとの連携（随時） |

イ 成年後見制度・福祉サービス利用援助事業の周知及び利用支援

寄せられた相談内容を精査し、対象となる高齢者の判断能力に応じた支援に努めました。精神や知的、認知症等の家族、身寄りのいない一人暮らしの方の相談対応を行いました。

- | |
|--------------------------|
| 1 成年後見制度申立支援件数 4件（昨年度2件） |
|--------------------------|

ウ 虐待通報への対応

虐待の疑いのある相談内容を行政担当者に連絡するとともに、対応について協議をし、一時的な分離などの緊急対応を行いました。また、虐待等の通報の受付や内容の確認、実態把握の迅速化、養護者の支援のため他機関との連携を行いました。

- | |
|------------------------|
| 1 虐待通報件数 延14件（昨年度延19件） |
|------------------------|

(4) 認知症施策の推進

市の委託を受けた認知症地域支援推進員が、権利侵害を受けやすい認知症高齢者対策として、認知症についての住民理解の促進に努めました。また、医療機関や地域の支援機関と連携を図り、認知症の人が住み慣れた環境で安心して暮らし続けることができるよう支援しました。

ア 認知症サポーター養成講座

認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する意識啓発に努めました。

- | |
|------------------------|
| 1 認知症サポーター養成講座 4回 392名 |
| (1) 5月30日 |
| ア 場所 市立第二中学校 |
| イ 対象 市立第二中学校3年生生徒・教諭 |
| ウ 参加者 150名 |
| (2) 8月23日 |

ア	場所	天童市健康増進施設
イ	対象	天童市健康増進施設職員
ウ	参加者	10名
(3)	9月9日	
ア	場所	市立第二中学校
イ	対象	市立第二中学校2年生生徒・教諭
ウ	参加者	112名
(4)	12月5日	
ア	場所	市立第四中学校
イ	対象	市立第四中学校2年生生徒・教諭
ウ	参加者	120名

イ 認知症地域支援推進員活動の充実

市及び市地域包括支援センターめいこうえんに配置されている認知症地域支援推進員と定期的に会議を開催し、認知症の方が安心して過ごせる地域づくりを行いました。

1	認知症地域支援推進員会議参加	4回（昨年度8回）
---	----------------	-----------

ウ 認知症初期集中支援チーム(ホオジロ)との連携

認知症初期集中支援チーム会議に参加し、認知症高齢者が適切な医療や介護サービス利用につながるよう、検討及び支援を行いました。

1	ホオジロチーム員会議参加	10回（昨年度3回）
---	--------------	------------

エ 認知症カフェの運営協力

認知症に係るすべての方を対象に認知症の不安や相談等を気軽にできる場及び情報交換の場として、市が月2回開催している「あったかフェテンドウ」への参加・運営協力を努めました。

オ 認知症事前登録事業への協力

認知症等により、徘徊、または徘徊するおそれのある高齢者及びその家族を支援することを目的とした認知症事前登録事業への協力支援及び広報活動に努めました。

1	市地域包括支援センター中央エリア登録者数	
	有効登録数	61名（昨年度53名）
	新規登録数	21名（昨年度15名）

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業

65歳以上の方々を対象に、その置かれている環境や心身の状況に応じて、必要性に合わせた多様なサービスが提供されるように努めました。

ア 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）

要支援に認定された方及び基本チェックリストで総合事業対象者に判定された方

を対象として自立支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメント（ケアプラン作成）を行いました。

1 介護予防ケアマネジメントA 2,006件（昨年度2,020件）
(1) 策定機関
ア 本会 1,694件（昨年度1,684件）
イ 委託先 312件（昨年度336件）
(2) 対象サービス
ア 訪問型A・通所型A（独自型） 1,846件（昨年度1,839件）
イ 通所型C（コツコツ運動教室） 55件（昨年度70件）
2 介護予防ケアマネジメントB 105件（昨年度111件）
(1) 策定機関
ア 本会 105件（昨年度104件）
イ 委託先 0件（昨年度7件）
(2) 対象サービス
ア あっばれ元気教室 87件（昨年度85件）
イ ショッピングリハビリ 15件（昨年度26件）
ウ ふれあい天童 3件（今年度から）

イ さわやか健康教室

一般市民及び高齢者の介護予防を意識した講座内容を企画し、さわやか健康教室を開催しました。

1 一般介護予防事業（さわやか健康教室）
(1) 開催数 6回（昨年度6回）
(2) 参加者 183名（昨年度185名）
(3) 開催内容
ア 免疫力アップ！健美操（9月29日・40名）
イ もう1回みんなでフラしようよ！（10月27日・28名）
ウ 心と身体がときめくスローエアロビック（11月7日・42名）
エ コロナ太りから抜け出そう（12月22日・20名）
オ お口のケアで健康長寿！（1月17日・16名）
カ 「心の疲れ」をリセット（2月9日・37名）

(6) 指定介護予防支援事業

要支援状態であっても、その悪化をできる限り防ぐことを目的に、より効果的なサービスの利用のためのケアプラン作成を行いました。

ア 給付管理の適正化

要支援1・2の認定を受けた方や家族と相談しながら、自立に向けた目標を設定し、適切な介護予防プランの作成・評価に努めました。

イ 業務委託環境の整備

要支援1・2の認定を受けた方の心身の状況を確認し、要支援から要介護状態へ移行する可能性の高い方は、継続性の観点から居宅介護支援事業所へ委託を行い、適正な予防プラン作成の支援に努めました。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 予防プランに伴う請求件数 1, 791件 (昨年度1, 695件) |
| (1) 本会 1, 190件 (昨年度1, 175件) |
| (2) 委託 581件 (昨年度520件) |

(7) 在宅高齢者訪問指導事業(すこやか訪問)

市の委託を受けて、介護保険の認定を受けていない75歳以上の単身高齢者世帯を対象に生活習慣予防や閉じこもり予防、寝たきり予防等について、訪問等により健康状態や生活の様子などを確認し、市の高齢者生活支援事業等の紹介を行いました。

- | |
|------------------|
| 1 すこやか訪問対象者数 50名 |
|------------------|

(8) 実習生の受入れ

将来、医療・福祉分野で活躍しようとする学生(山形大学医学部看護学科実習生、県立保健医療大学保健医療学部看護学科実習生)の人材育成や地域包括支援センター業務の理解促進を目的に実習受入しました。

- | |
|--|
| 1 山形大学医学部看護学科 実習生2名 令和4年6月8日、9日 |
| 2 県立保健医療大学保健医療学部看護学科 実習生2名 令和5年2月13日
～16日 |

5 介護サービス事業所の運営

(1) 天童市居宅介護支援事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく指定居宅介護支援事業の実施

自立支援や日常生活機能の維持向上を図る事で、利用者の望む生活が継続できるよう、研修会や事例検討会、定期会議等においてケアマネジメントの質の向上に努めました。法令遵守に努め、適切な人員配置やケアプラン作成数等の要件を満たし特定事業所の指定維持を図りました。

- | |
|--------------------------------|
| 1 作成件数 1, 107件 (昨年度1, 081件) |
| (1) 居宅介護支援 947件 (昨年度976件) |
| (2) 予防介護支援・総合事業 160件 (昨年度105件) |

イ 介護保険に関する各機関との連絡調整及び手続代行

病院や施設から在宅生活への円滑な移行を目指し、利用者の状況に応じた環境整備や手続き等により連携を図りました。また、利用者へのより良い支援のため、介護サービスのみならず多様なサービスも含め、関係機関と連絡調整を行いました。

- | |
|-----------------|
| 1 事業所内会議の実施 週1回 |
|-----------------|

2	打合わせ	全日
3	研修会への参加	12回（昨年度11回）

ウ 要介護認定調査事業

保険者から調査依頼を受けた利用者に対し、生活及び心身の状況が正確に反映できる認定調査に努めました。

1	市内	50件（昨年度62件）
2	市外	2件（昨年度3件）

エ 他法人の居宅介護支援事業者との共同事例検討会及び研修会の開催

他法人が運営する居宅介護支援事業者と共同で研修会等を開催して制度やケアマネジメントの理解を深め、介護支援専門員としての資質向上に努めました。

1	4回開催	（昨年度3回開催）
---	------	-----------

オ 実習生の受入れ

介護支援専門員実務研修実習受入の協力事業所として実習受入れを行い、実践的なケアマネジメントやプロセス等の指導に努めました。

1	実習生	1名
---	-----	----

(2) 天童市訪問介護サービス事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく訪問介護事業

居宅サービス計画に基づき、利用者毎の目標に近づけるようなサービス提供を目指しました。月1回、全員参加の会議を行い、利用者の情報を共有すると共に介護サービスの質の向上を図り、特定事業所の指定維持に努めました。

1	利用件数	544件（昨年度625件）
	(1) 要支援・総合事業	318件（昨年度343件）
	(2) 要介護	226件（昨年度282件）

イ 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業、同行援護事業

障がいを持つ方が地域で可能な限り自立した生活を続けられるよう、利用者毎のニーズに添った居宅介護計画の作成とサービス提供を行いました。特定事業所の指定の維持を図るために、介護保険同様月1回の会議を行い、サービスの質の向上に努めました。また、障害者総合支援法指定基準改正に伴い、身体拘束、虐待防止に関わる指針の整備、委員会を開催し、適正な事業所運営に努めました。

1	利用件数	286件（昨年度317件）
2	実契約数	30件（昨年度35件）

ウ 地域支援事業に基づく移動支援事業の実施

天童市からの委託事業として、障がいを持つ方が地域活動や社会参加のため安心

して屋外移動ができるよう外出援助を行いました。

- | | | | |
|---|------|-----|----------|
| 1 | 利用件数 | 17件 | (昨年度27件) |
| 2 | 実契約数 | 4件 | (昨年度5件) |

エ 多胎児世帯ヘルパー派遣事業の実施

天童市からの委託事業として、双子以上を養育している保護者が、安心して子育てができるよう支援を行いました。

- | | | | |
|---|------|-----|----------|
| 1 | 利用件数 | 24件 | (昨年度12件) |
| 2 | 実契約数 | 3件 | (昨年度2件) |

オ まごころ支援事業(自主事業)の実施

介護保険や障がい福祉サービス事業等が何らかの理由で受けられない場合に、本会の自主事業を利用することで、安心して在宅生活が続けられる支援に努めました。

- | | | | |
|---|------|-----|----------|
| 1 | 利用件数 | 19件 | (昨年度33件) |
| 2 | 実契約数 | 6件 | (昨年度7件) |

カ 養育支援訪問事業の実施

天童市からの委託事業として、育児に不安がある保護者に対して、安心して養育できるよう育児や家事援助等の支援を行いました。

- | | | | |
|---|------|----|---------|
| 1 | 利用件数 | 2件 | (昨年度4件) |
| 2 | 実契約数 | 1件 | (昨年度1件) |

キ 実習生・研修生の受入れ

福祉人材育成を目的に将来福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、介護の専門知識と介護技術の指導に努めました。

- | | | | |
|-----|------------|-----|----------|
| 1 | 県立天童高等学校 | | |
| (1) | 前期実習生(3年生) | 15名 | (昨年度21名) |
| (2) | 後期実習生(2年生) | 8名 | (昨年度16名) |

ク 天童市内訪問介護サービス事業所情報交換会の開催

天童市内の訪問介護サービス事業所全体で在宅介護サービスの充実を図る事を目的に開催し、訪問介護の現状や課題について意見交換を行い情報の共有を図りました。

- | | | |
|---|------|---------|
| 1 | 1回開催 | (昨年度1回) |
|---|------|---------|

ケ 運営会議の開催

訪問介護事業の適正な運営継続に向け、本会及び全体の実情を踏まえ今後の運営や事業の方向性について検討しました。

- | | | |
|---|------|---------|
| 1 | 3回開催 | (昨年度1回) |
|---|------|---------|

6 天童市総合福祉センターの管理・経営

(1) 施設等の貸出

ア 福祉関連の事業、団体を優先にした貸出実施

福祉関係団体については2ヶ月前、福祉関係以外の団体については1ヶ月前から予約を開始し、福祉活動への優先的な開放を行うとともに、より多くの市民に安全に安心して、利用いただけるよう効率的な貸出に努めました。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用人数や飲食を制限する等、利用者へも感染予防策の周知徹底を行いました。

- | | | |
|-----|----------------------|---|
| 1 | 利用団体数（延件数） | 3, 137団体（昨年度2, 910団体） |
| (1) | 市関係 | 410団体（昨年度479団体 内新型コロナワクチン関連242団体） |
| (2) | 福祉関係 | 2, 464団体（昨年度1, 885団体） |
| (3) | その他 | 263団体（昨年度178団体） |
| 2 | 利用人数（延人数） | 30, 969人（昨年度42, 677人） |
| (1) | 市関係 | 5, 773人（昨年度27, 853人 内新型コロナワクチン関連25, 392人） |
| (2) | 福祉関係 | 20, 705人（昨年度12, 759人） |
| (3) | その他 | 4, 491人（昨年度2, 065人） |
| 3 | 新型コロナ予防策としての利用者への制限等 | |
| (1) | 令和4年6月14日まで | 定員の50%以下の人数制限、飲食自粛 |
| | 令和4年6月15日から | 定員の75%以下の人数制限、飲食可 |
| | 令和5年3月13日から | 利用人数の制限解除、マスク着用個人判断 |

※天童市総合福祉センターの利用状況の詳細は別表1に記載

イ 抽選による受付実施

毎月の予約開始日に予約抽選会を開催し、平等な受付に努めました。

- | | | |
|---|---------|--|
| 1 | 抽選日 | 毎月1日（1日が土・日・祝日の場合は、次の平日となり、1月のみ5日とし、1月5日が土・日・祝日の場合は、次の平日）の午前9時 |
| 2 | 抽選会参加団体 | 約13団体 |

ウ 備品貸出事業の実施

無料で備品の貸出を行い、地域福祉や地域活動の振興等に努めました。

- | | | | |
|---|------------|------|-------------|
| 1 | 車イス | 貸出回数 | 82回（昨年度30回） |
| 2 | 輪投げセット | 貸出回数 | 7回（昨年度4回） |
| 3 | グラウンドゴルフ用具 | 貸出回数 | 5回（昨年度6回） |
| 4 | 外用いす及びテーブル | 貸出回数 | 4回（昨年度5回） |
| 5 | 集会用テント | 貸出回数 | 3回（昨年度0回） |

(2) 良好な環境整備

ア 日常点検及び定期的なメンテナンス等による施設の良好な環境整備

毎朝の総合的な施設・設備の点検や月1回の定期清掃、各設備等の定期点検を行い、故障箇所等の早期発見や修繕等の迅速な対応に努めました。

1 修繕等箇所

- (1) 誘導灯修繕（1階・2階階段）
- (2) 照明修繕・交換（屋内運動広場ステージ、西口外灯、2階男子トイレ、調理室非常灯）
- (3) 1階トイレ水栓及び洗面台排水管等修繕
- (4) 1階事務室ブラインド、窓レバー修繕
- (5) 1階身障者用トイレ足踏式操作弁修理、外身障者用トイレ排水弁等修理
- (6) 屋上落下防止フェンス修繕
- (7) 駐車場シラカシの木維持管理（追肥）
- (8) 教養娯楽室の障子張り替え
- (9) 自動給水ポンプ交換工事

〔市施工〕

- (10) 共同アンテナ修理及びアンテナ増幅器交換
- (11) 調理室天井修繕
- (12) 西口入口ドア修繕
- (13) 全館電話機更新工事
- (14) 誘導灯修繕（屋内運動広場）

2 定期清掃

- (1) 内容 全館のワックス塗布
- (2) 回数 月1回

3 新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底

アルコール消毒液の設置、定期的な換気、マイクなど使用機器及び館内手すり等の消毒

イ 消防総合訓練や発電機の点検等による避難所開設及び災害発生時への対応準備

消火訓練等を行い防火体制の強化に努めました。

1 総合消防訓練等

- (1) 4月18日
- (2) 10月17日

2 防火体制 防火対象物点検報告特例認定（令和6年7月28日まで有効）

3 発電機（2台）月1回点検

ウ 効果的な経費の削減

暖房・冷房のこまめな調整や安全確保をした上での不用な照明の消灯、使用していないコピー機等の事務用機器の電源を切るなど、経費削減に取り組みました。

(3) 同好クラブ事業の内容充実

60歳以上の市民が趣味活動を通して、健康維持や仲間づくりを進められるよう同好クラブの運営を行いました。

ア 囲碁クラブ

- | | | |
|---|------|---------|
| 1 | 開催回数 | 延97回 |
| 2 | 参加者数 | 延1,846名 |

イ コスモスダンスクラブ(社交ダンス)

- | | | |
|---|------|-------|
| 1 | 開催回数 | 延17回 |
| 2 | 参加者数 | 延146名 |

ウ 手芸クラブ

- | | | |
|---|------|-------|
| 1 | 開催回数 | 延12回 |
| 2 | 参加者数 | 延138名 |

エ 俳句クラブ

- | | | |
|---|------|--------------------|
| 1 | 開催回数 | 延12回 (内1回はな駒荘にて実施) |
| 2 | 参加者数 | 延74名 |

オ 将棋クラブ

- | | | |
|---|------|-------|
| 1 | 開催回数 | 延98回 |
| 2 | 参加者数 | 延704名 |

カ 民踊クラブ

- | | | |
|---|------|-------|
| 1 | 開催回数 | 延22回 |
| 2 | 参加者数 | 延116名 |

7 法人組織の管理・運営等

(1) 法人組織の管理・運営

ア 理事会及び評議員会等の開催

定期的な理事会、評議員会を実施しながら、経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等に努めました。

また、評議員を選任するための組織である評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。

- | | | |
|---|-----|--------------|
| 1 | 理事会 | 4回 (昨年度4回) |
| | (1) | 6月9日 |
| | (2) | 7月5日 (決議の省略) |

(3)	9月21日
(4)	3月14日
2	評議員会 3回 (昨年度3回)
(1)	6月23日
(2)	9月29日
(3)	3月27日
3	評議員選任・解任委員会 2回 (昨年度1回)
(1)	6月16日
(2)	3月22日
4	会長・副会長会議 3回 (昨年度3回)
(1)	5月30日
(2)	9月12日
(3)	3月6日

イ 監事による監査の実施

監事による業務執行及び財産の状況の監査により、適正な法人運営に努めました。

1	決算監査 5月23日
---	------------

ウ 事業継続計画書（BCP）の作成

災害の発生時に本会が提供する福祉サービスを継続的に提供し、中断した場合も早期再開を実現するため、法人として災害時の事業継続計画書を作成しました。

1	災害時の事業継続計画書作成 11月
---	-------------------

(2) 苦情解決の推進

苦情解決の推進のため第三者委員を委嘱し、組織体制の整備を図りながら、利用者の権利を擁護するとともに提供するサービスの向上に努めました。

1	苦情の件数 0件 (昨年度0件)
---	------------------

(3) 自主財源の確保

会員や社会福祉基金等の増強のため、広報チラシの市内全戸配布等を行い広報活動を推進しました。

1	会費
(1)	世帯数 16,977世帯 (昨年度16,889世帯)
(2)	会費額 11,883,500円 (昨年度11,822,300円)
2	社会福祉基金
(1)	件数 1件 (昨年度1件)
(2)	金額 10,000円 (昨年度10,000円)
3	地域福祉事業のための寄付金
(1)	件数 3件 (昨年度1件)

(2) 金額 325,000円 (昨年度300,000円)

4 共同募金

(1) 共同募金配分金 5,024,328円 (昨年度4,959,549円)

(2) 地域福祉活動配分金 8,150円 (昨年度162,020円)

(3) 赤い羽根寄付金付き自動販売機販売手数料 12,171円 (昨年度10,946円)

(4) 地域における公益的な取組の推進

社会福祉法人の責務として、社会福祉法に定められている日常生活、社会生活上の支援を必要とする方に対して、無料または低額の料金で行う福祉サービスを積極的に提供しました。

1 たすけあい資金貸付事業 低所得世帯に無利子の独自資金を貸付する。

2 フードバンク・フードドライブ事業 市民から寄付を受けた食品等を本会・NPO団体を通じ、生活困窮者や新型コロナ感染症自宅療養者等へ提供する。

3 まごころ支援事業 介護保険等に該当しない方へ訪問介護サービスを提供する。

4 法人後見事業 意思決定が困難な方の財産管理、身上監護を行い、権利を擁護する。

(5) 法人事業の広報

多くの市民の方々から本会事業を理解していただき、福祉活動に関心をもっていただけるよう、ホームページ、SNSを活用した情報提供に努めました。

1 市報てんどう・新聞各社・コミュニティ情報誌への記事提供

2 ホームページの開設、情報掲載

3 ツイッターアカウントの新規開設(5月)、情報掲載

(6) 職員の資質向上及び福利厚生

ア 定例会及び係長等会議の開催

毎月、定例会及び係長等会議を開催し係間の連携、連絡調整を図り、狭間のない業務執行やサービス提供に努めました。

1 定例会

(1) 参加者 6名(会長、事務局長、事務局次長、主幹、係長)

(2) 回数 月1回開催

2 係長等会議

(1) 参加者 9名(事務局長、事務局次長、主幹、係長、主査、主任)

(2) 回数 月1回開催

イ 各種研修会への参加及び開催

外部で開催されるオンラインを含めた研修会等への積極的な参加により、職員の資質向上に努めました。また、独自に研修会を開催し、専門的な知識や技能等を高めました。

- | | | | | |
|-----|---------------------------------|-------------------------------|------|-----------------------------------|
| 1 | 内部研修会等 | 10回 | 213名 | ※定期的に開催する(7)(8)を除く
(昨年度6回161名) |
| (1) | 消防訓練等 | | | |
| ア | 消火訓練 | | | |
| (ア) | 期日 | 4月18日 | | |
| (イ) | 講師 | 天童市消防本部・浅野防災 | | |
| (ウ) | 参加者 | 35名 | | |
| イ | 消防総合防災訓練 | | | |
| (ア) | 期日 | 10月17日 | | |
| (イ) | 講師 | 天童市消防本部 | | |
| (ウ) | 参加者 | 40名 | | |
| (2) | 介護サービス係研修会「おむつの選び方、モレを防ぐあて方を学ぶ」 | | | |
| ア | 期日 | 12月16日 | | |
| イ | 講師 | 日本製紙フレシア(株)ケアアドバイザー | | |
| ウ | 参加者 | 19名 | | |
| (3) | 一般応急手当講習会 | | | |
| ア | 期日 | 2月13日・14日 | | |
| イ | 講師 | 天童市消防本部 | | |
| ウ | 参加者 | 45名 | | |
| (4) | BCP(事業継続計画書)についての研修会 | | | |
| ア | 期日 | 2月13日・14日 | | |
| イ | 講師 | 本会総務係長 | | |
| ウ | 参加者 | 29名 | | |
| (5) | 福祉サービス利用援助事業生活支援員等研修会 | | | |
| ア | 「高齢者の言葉のリハビリ」 | | | |
| (ア) | 期日 | 4月28日 | | |
| (イ) | 講師 | 社会福祉法人つるかめ | | |
| (ウ) | 参加者 | 10名 | | |
| イ | 「精神障がいを理解しよう」 | | | |
| | 「ひまわり園のコーヒー講座～ホッと一息リフレッシュ」 | | | |
| (ア) | 期日 | 2月28日 | | |
| (イ) | 講師 | 社会福祉法人山形県玉葉会
社会福祉法人天童まいつる会 | | |
| (ウ) | 参加者 | 8名 | | |
| (6) | 介護サービス事業所運営会議 | | | |
| ア | 回数 | 3回(11月4日・12月16日・2月24日) | | |
| イ | 参加者 | 各回9名 | | |
| (7) | 居宅介護支援事業所会議 | | | |
| ア | 回数 | 52回(週1回) | | |

- イ 参加者 各回 3名
- (8) 訪問介護サービス事業所会議
- ア 回数 12回 (月1回)
- イ 参加者 各回 18名
- 2 外部研修会等 ※オンライン研修含む
- (1) 開催回数 234回 (昨年度209回)
- (2) 参加職員 519名 (昨年度425名)

ウ 新規資格取得者への助成

職員の資質及び自己啓発意欲の向上を図るため、職務に必要な資格取得経費への助成を行いました。

- 1 対象資格取得者 1名 (精神保健福祉士)

エ 安全衛生委員会の開催や健康診断等の助成

労働災害等の予防及び職員の健康保持増進のために、産業医を委嘱し、職員の安全衛生に取り組みました。

- 1 安全衛生委員会
 - (1) 参加者 7名 (鞍掛彰秀産業医、事務局長、事務局次長、各係長他)
 - (2) 開催回数 6回
- 2 インフルエンザ予防接種費用の助成
- 3 健康診断の実施

〈別表1〉

令和4年度天童市総合福祉センター利用状況

令和4年4月～令和5年3月

区分 月別	利用団体数(単位:団体)				利用人数(単位:人)			
	市関係	福祉関係	その他	計	市関係	福祉関係	その他	計
4	29	195	22	246	434	1,413	414	2,261
5	30	193	19	242	286	1,387	307	1,980
6	24	229	29	282	258	1,452	440	2,150
7	39	198	18	255	496	1,433	320	2,249
8	32	167	19	218	572	1,049	288	1,909
9	27	207	21	255	281	1,496	375	2,152
10	77	231	17	325	602	4,069	318	4,989
11	47	200	30	277	844	1,631	444	2,919
12	26	202	20	248	537	1,682	336	2,555
1	25	194	19	238	465	1,405	347	2,217
2	33	213	23	269	731	1,715	406	2,852
3	21	235	26	282	267	1,973	496	2,736
計	410	2,464	263	3,137	5,773	20,705	4,491	30,969
令和3年度 4月～3月	847	1,885	178	2,910	27,853	12,759	2,065	42,677
前年度比	△ 437	579	85	227	△ 22,080	7,946	2,426	△ 11,708

R4.6/15～ 新型コロナ対策のための施設利用制限緩和

(収容定員の50%以下→75%以下、飲食可)

R4.8 新型コロナ オミクロン株による感染者増加の為、キャンセル増加

R4.10 健康福祉まつり、将棋大会開催の為、人数増加

R5.3/13～ 新型コロナ対策のための施設利用制限緩和

(収容定員の75%以下撤廃、マスク着用個人判断)